BOOK Review

脱・しくじりプレゼン
言いたいことを言うと伝わらない！

評者 飯原 弘二 九州大学大学院教授・脳神経外科

医師の日常は，臨床カンファレンスから学会発表，研究成果発表会など，プレゼンの機会に事欠きません．若手の医師にとっては，初の全国学会での口演発表，中堅医師では，シンポジウムの発表，共催セミナーでの口演が当たると，大変うれしいものです．また公的研究費の獲得や公的なポストへの昇進など，プロフェッショナルとしてのキャリアをアップする上でも，プレゼンの重要性に異を唱える人はいないと思います．しかし，いかに仕事の内容が素晴らしくても，聴衆に効果的に伝える努力を私たちは十分しているでしょうか？　今から思いますと，私も若いころ，かなり独り善がりなプレゼンをしていたように思います．

このたび医学書院から，医療者向けに『脱・しくじりプレゼン』が刊行されました．編著者は，名著『パーフェクトプレゼンテーション』（生産性出版，1995）で有名な八幡紘芦史氏です．私自身，プレゼンの基本を八幡氏から学んだ一人です．本書は，多忙な臨床医や研究者向けに，プレゼンの極意を，マンガと丁寧なレクチャーでビジュアルに解説しています．効果的なプレゼンには，事前の情報収集と分析がまず必要なこと，聞き手に当事者意識を持たせることを示して，さまざまな場面での失敗の要因を分析しています．デリバリーとは，まさに伝えるテクニックです．内容を聴衆に理解してもらい，さらに信頼してもらえるかは，このデリバリーの技術にかかっています．また，研究費の獲得や公的なポストへの昇進でのプレゼンでは，プレゼン後の質疑応答が，より大切になってきます．この質疑応答の成否は，深い意味では，プレゼンした内容が，いかにあなたの実体験に基づいているかにかかっています．本当に身についた知識や内容であれば，聴衆は本当に理解して，共感してくれると思いますが，プレゼンの目的や聴衆はさまざまだと思います．本書は，さまざまな局面で，「しくじらない」ためのノウハウを満載しています．Practice makes perfect!　皆さん，本書をひもときながら，ぜひ多くのプレゼンをしてください．その後，本書を読み返すと，さらに大きな発見があると思います．

八幡 紘芦史 編著，竹本 文美・田中 雅美・福内 史子 著
A5判／192頁／2018年／定価（本体2,600円＋税）／ISBN978-4-260-03191-2／医学書院刊

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2019

2026/09/15 12:58:04